第6章 環境影響評価項目の選定

本事業の実施に係る環境影響評価その他の手続きを適切に進めるため、札幌市環境影響評価条例(平成11年12月、札幌市条例第47号)第5条第1項の規定により策定された技術指針に基づき、環境影響評価項目の選定について以下の検討を行った。

1. 環境影響評価項目の選定

環境影響評価項目は、事業の特性等を考慮して環境影響要因を抽出し、環境影響要因と環境 要素との関連を整理して選定した。

選定した環境影響評価項目を表 6-1-1 に、選定・非選定の理由を表 6-1-2 (1)~(3)に示す。

表 6-1-1 環境影響評価項目の選定

			I	事の実	施	土地又	は工	作物の	の存在	及び	供用
			用資		工地	_	没の移		廃		
		建設機械の稼働	Rいる車両の運 関材及び機械の	切土工等及び施	工作物の存在地形改変後の土	排出ガス	排水	機械等の稼	廃棄物の搬出入	廃棄物の発生	
環境要素の区分			123	浸行搬に	心設の設置	地及び			働	\\ \\	
		硫黄酸化物					0				
		窒素酸化物					0			-	
	大気質	浮遊粒子状物質					0				
		有害物質					0				
		粉じん等	0*	0*							
	騒音	騒音	0*	0*					0	_	
	振動	振動	0*	0*					0	_	
人の健康の保護及		悪臭))			0)		
び生活環境の保)				
全、並びに環境の											
自然的構成要素の	風害										
良好な状態の保持)A\	水の汚れ						_			
を旨として調査、	水質(底質及び地 下水を含む)	水の濁り			_						
予測及び評価され		有害物質									
るべき環境要素	地形及び地質	重要な地形及び地質									
5 C然死女术	地盤沈下	里安な地形及い地貝									
	土壌										
	土地の安定性										
	日照阻害										
	電波障害										
	風車の影										
	反射光										
生物の多様性の確	植物	重要な植物種及び群				_					
保及び多様な自然	112 173	落とその生育地									
環境の体系的保全 を旨として調査、	動物	重要な動物種及び注 目すべき生息地				-					
予測及び評価され		地域を特徴づける生									
るべき環境要素	生態系	態系				_					
人と自然との豊か		主要な眺望点及び景									
な触れ合いを旨と	景観	観資源並びに主要な				0					
して調査、予測及		眺望景観									
び評価されるべき	人と自然との触れ	主要な人と自然との									
環境要素	合いの活動の場	触れ合いの活動の場				_					
環境への負荷の回											
避・低減及び地球	廃棄物等	廃棄物及び副産物			0*						0*
環境の良好な状態		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •									
の保持を旨として											
調査、予測及び評		→ T	~ ~	~ ~							
価されるべき環境	温室効果ガス	二酸化炭素	O₩	O☆			0				
要素											
		5術指針」における「磨		Lt: +n+/-:	-П. <i>К</i> -К-) -	・フサ		п. з	. — ı		

- 注1)網掛けは「札幌市環境影響評価技術指針」における「廃棄物焼却施設等に係る基本項目」を示す。
- 注 2)「○」: 環境要素として選定する項目を示す。
 - 「一」:「札幌市環境影響評価技術指針」の基本項目であるが、本事業の計画及び事業特性を考慮して選定しない項目を示す。
 - 「○☆」: 市長意見に基づき追加した項目を示す。
 - 「○*」: 方法書段階において必要と判断し、配慮書から追加した項目を示す。

表 6-1-2(1) 環境影響評価項目の選定・非選定の理由 (1/3)

			工事の実施			十地区	は工	作物0)存在	及び供	:用		
							++-11 0 14 14						
環境努	要素の区分	影響要因の区分	建設機械の稼働	用いる車両の運行資材及び機械の運搬に	切土工等及び施設の設置	工作物の存在地形改変後の土地及び	排出ガス	排水	機械等の稼働	廃棄物の搬出入	廃棄物の発生	事業特性・地域特性を踏まえた 項目の選定・非選定理由	
び評価され 人の健康の		硫黄酸化物					0					当該施設はばい煙発生施設 であり、周辺の生活環境に配慮 して特に大気質への負荷を低 減すべき項目であること、周辺	
れるべき環境の保護及び生		窒素酸化物					0			_		に住居や学校等保全対象施設 が存在することから項目とし て選定する。 また、廃棄物の搬出入の車両	
境要素境	上戶所	浮遊粒子状物質					0					の走行に伴う周辺環境への影響については、現状で搬出入の	
の保全、並び	大気質	有害物質					0					車両台数は 15 台/日未満であり、影響は明らかに軽微であることから、項目として選定しない。	
いに環境の自然的構成要素		粉じん等	0*	0*								工事中の建設機械稼働及び 運搬車両の走行により周辺住 居等や道路沿道地域の生活環 境に影響を及ぼす可能性が考 えられることから項目として 選定する。	
\mathcal{O}	騒音	騒音	O*	0*					0	_		工事中の建設機械稼働及び 運搬車両の走行により周辺住 居等や道路沿道地域の生活環 境に影響を及ぼす可能性が考	
良好な状態の保持を旨として調査	振動	振動	<u></u> *	○*					0	_		えられることから項目として 選定する。 また、廃棄物の搬出入の車両 の走行に伴う周辺環境への影響については、現状で搬出入の 車両台数は 15 台/日未満であ り、影響は明らかに軽微である ことから、項目として選定しな い。	
調査、予測及	悪臭	悪臭					0					焼却施設の排出ガス及び施設から漏洩する悪臭が、周辺の生活環境に影響を及ぼす可能性が考えられることから項目として選定する。	

注 1) 網掛けは「札幌市環境影響評価技術指針」における「廃棄物焼却施設等に係る基本項目」を示す。

注 2)「○」: 環境要素として選定する項目を示す。

「一」:「札幌市環境影響評価技術指針」の基本項目であるが、本事業の計画及び事業特性を考慮して選定しない項目を示す。

「○☆」: 市長意見に基づき追加した項目を示す。

「〇 * 」: 方法書段階において必要と判断し、配慮書から追加した項目を示す。

表 6-1-2(2) 環境影響評価項目の選定・非選定の理由(2/3)

			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用						
環境要素の		影響要因の区分	建設機械の稼働	用いる車両の運行資材及び機械の運搬に	切土工等及び施設の設置	工作物の存在地形改変後の土地及び	施排出ガス	设の種 排 水	像 機械等の稼働	廃棄物の搬出入	廃棄物の発生	事業特性・地域特性を踏ま えた項目の選定・非選定理 由
して調査、環境の自然		水の汚れ										施設排水は、公共用水域 に排出しない計画であるこ とから項目として選定しな い。
査、予測及び評価されるべき環境自然的構成要素の良好な状態のほ	水質(底 質及び地 下水を含 む)	水の濁り			ı							工事中の排水は、公共用 水域に排出しない計画であ ることから項目として選定 しない。
		有害物質						ı				施設排水は、公共用水域 に排出しない計画であるこ とから項目として選定しな い。
υ環境	地形及び 地質	重要な地形及 び地質				1						本事業は同一敷地内で建 て替えする計画であり、文 献資料において事業実施区 域周辺に重要な地形は分布 していないため、項目とし て選定しない。
れと自物のなった。	植物	重要な植物種 及び群落とそ の生育地										本事業は既存の同一敷地 内で建て替えする計画であ り、文献資料及び現地確認
ンべき環境要素 いた環境の体系的保全を旨 い然環境の体系的保全を旨 の多様性の確保及び多様	動物	重要な動物種 及び注目すべ き生息地										において事業実施区域は人 為的な改変を受けていない 自然環境に隣接しておら
	生態系	地域を特徴づける生態系				_						ず、施設の存在及び供用により重要な動植物や生態系へ影響は明らかに軽微であることから項目として選定しない。

注1) 網掛けは「札幌市環境影響評価技術指針」における「廃棄物焼却施設等に係る基本項目」を示す。

注 2) 「○」: 環境要素として選定する項目を示す。

「一」:「札幌市環境影響評価技術指針」の基本項目であるが、本事業の計画及び事業特性を考慮して選定しない項目を示す。

「○☆」: 市長意見に基づき追加した項目を示す。

「○*」: 方法書段階において必要と判断し、配慮書から追加した項目を示す。

表 6-1-2(3) 環境影響評価項目の選定・非選定の理由 (3/3)

			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用								
			建	用資	切	工地	施	設の移	家働	廃	廃			
影響要因の区分環境要素の区分		設機械の稼働	いる車両の運行材及び機械の運搬に	土工等及び施設の設置	作物の存在形改変後の土地及び	排出ガス	排水	機械等の稼働	棄物の搬出入	棄物の発生	事業特性・地域特性を踏まえ た項目の選定・非選定理由			
要素、予測及び評のと自然との豊かな	景観	主要な眺望 点及び景観 資源並びに 主要な眺望 景観				0						本事業は既存の同一敷地 内で建て替えする計画であ るが、事業実施区域周辺には 主要な眺望点等が存在し、こ れらからの眺望に影響を及 ぼす可能性が考えられるこ とから項目として選定する。		
こ価されるべき環境	人と自然 との触れ 合いの活 動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場				-						本事業は既存の同一敷地 内で建て替えする計画であ り、周辺地域の改変をしない ため、人と自然との触れ合い の活動の場に影響は明らか に軽微であることから項目 として選定しない。		
て調査、予測及び評価されるべき環境への負荷の回避・低減及び地球環	廃棄物等	廃棄物及び 副産物			0*						O*	工事中に建設副産物(残土等)が発生することが考えられることから項目として選定する。 また、施設稼働に伴い施設から廃棄物が発生することから選定する。 なお、解体工事については、施設完成後に実施する計画であり、本環境影響評価の対象項目ではなく、別途関連法令に準じた調査等を行う。		
^{環境要素} 環境の良好な状態の保持を旨とし	温室効果ガス	二酸化炭素	○☆				0					施設は廃熱発電設備を備えており、温室効果ガス排出量の削減に寄与する予定であるが、施設稼働に伴い温室効果ガス(一酸化二窒素等)が発生することから項目として選定する。また、工事中の建設機械稼働及び運搬車両の走行に意見な影響については、市長意見に基づき項目として選定する。		

注1)網掛けは「札幌市環境影響評価技術指針」における「廃棄物焼却施設等に係る基本項目」を示す。

注 2) 「○」: 環境要素として選定する項目を示す。

「一」:「札幌市環境影響評価技術指針」の一般項目であるが、本事業の計画及び事業特性を考慮して選定しない項目を示す。

「○☆」: 市長意見に基づき追加した項目を示す。

「○*」: 方法書段階において必要と判断し、追加した項目を示す。